



2022 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
代表者名 代表取締役社長 田島 秀二
(コード番号：7707 東証グロース)
問合せ先 取締役 田中 英樹
(TEL 047-303-4800 <https://www.pss.co.jp/>)

**レクチンマイクロアレイ技術を用いた
研究機関向け糖鎖解析受託サービスの開始についてのお知らせ**

プレシジョン・システム・サイエンス株式会社（以下、PSS、代表取締役社長：田島 秀二、本社：千葉県松戸市）は、2022 年 11 月 14 日から研究機関向けにレクチンマイクロアレイ技術^{注1}を用いた糖鎖^{注2}解析受託サービスを開始いたします。またサービス開始に先立ち、糖鎖解析受託サービスを提供する拠点となる「PSS つくばラボラトリー」（茨城県つくば市千現2丁目1-6 つくば研究支援センターG棟内）を開設いたしました。

今後、受託サービスの提供に加え、レクチンマイクロアレイ関連製品の製造販売も予定しています。

2019 年から JST(国立研究開発法人 科学技術振興機構)研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）産学共同（本格型）の助成を受けて、糖鎖解析ツールとして開発中の GlycoBIST^{注3}は、レクチンマイクロアレイの自動化技術です。本技術の導入により、基礎研究から全自動化を視野に入れた臨床応用までシームレスな糖鎖解析の技術プラットフォームを顧客にご提供することができるようになります。

今後、GlycoBIST を含めた糖鎖解析関連製品のラインナップを強化し、糖鎖研究分野のより一層の発展に貢献していきたいと考えています。

なお、本受託サービス開始に伴う当期における PSS の本年度業績への影響は軽微です。

以上

【用語説明】

注 1) レクチンマイクロアレイ技術：糖鎖を特異的に認識するタンパク質として知られるレクチン群をガラス基板にアレイ状に配置することで、測定対象の糖タンパク質とレクチンの反応を蛍光検出する技術です。検出にエバネッセント波励起型専用スキャナー（GlycoStation® Reader）を使用するのが特徴です。2005 年に産総研が開発した糖鎖解析技術で、さまざまな研究分野において長年の使用実績があります。

注 2) 糖鎖：単糖同士が鎖状に結合した化学構造で、糖鎖修飾を受けたタンパク質や脂質は糖タンパク質や糖脂質と呼ばれます。糖鎖は、生命現象や疾患とも深い関わりがあり、“第三の生命鎖”や“細胞の顔”としても知られています。

注 3) BIST : Beads array In Single Tip

<http://www.pss.co.jp/technology/apit/bist01.html>

多項目同時測定を自動で行うために開発された PSS 独自のマルチプレックス検出用ツールです。測定対象物質と結合する抗体、抗原、DNA 断片等を固定化した直径 1mm のビーズをキャピラリーに並べて封入することで、多項目同時測定を実現しています。